

上越民商ニュース

発行
上越民主商工会
〒943-0827
上越市栄町7-7
TEL025-524-4816
FAX025-524-3298

「脱原発の野党+市民候補」VS 「安倍政権直結、原子カムラ支援候補」

世界最大級の柏崎刈羽原発を最大の争点に、原発はベースロード電源と位置付ける自民の推薦を受ける森民夫候補と、原

発再稼働阻止で野党と市民の支援を受ける米山隆一候補が事実上の一騎打ちとなる新潟県知事選が既に後半戦に突入してい

ます。

米山氏は①福島原発事故の検証なしに原発再稼働の議論は出来ない。②TPPに反対し、新潟の農業を守る。③教育・子育て・医療・介護等福祉への投資を最優先にする。④対話型県政で「日本海側の表玄関・新潟」を創るを主な公約に掲げています。

常任理事会で 米山氏の支持決定

上越民商は10月3日の常任理事会で議論の結果全会一致で米山氏を支持



上越市での第一声で訴える米山隆一候補(左)と森ゆうこ参院議員(右)

10月の「なんでも相談会」は、10月19日(水)午後7時~8時までの1時間、民商事務所3階にて行ないます。事前に予約の電話をお願いします。

「なんでも相談会」は19日(水)19:00

最近多い相談は、①消費税、国保など税金が納められない。②社会保険加入を迫られているが、どう対応したら良いか。③労働保険に加入しないと現場

に入れないと言われている。一人親方の労災に加入したい。④税務署から「おたずね」文書が来たが、どう対応したら良いのか。等々です。

相談は、民商会員、商工新聞読者はもとより、会外の方でも結構です。あなたの周りで「困った」と言っている方がおられたら民商を紹介して下さい。

し、当選めざし運動することを決定しました。

原発再稼働 阻止への公約

米山氏が掲げる「原子力防災への取組み」では「福島原発事故及びその影響と課題に関する3つの検証(事故原因検証、事故の健康と生活への影響の検証、安全な避難方法の検証)がなされない限

り再稼働の議論は始められない」と明確にした上で、3つの検証に基づいた①安全な避難計画の策定。②原子力防災対策。③迅速な被災者支援体制・制度の策定を公約しています。

福祉の向上と 地域経済振興

医師で弁護士でもある米山氏は、子育て支援や



第一声には、ママたち女性陣が大勢結集

「なんでも相談でき、とことん弱い者の味方」民商の魅力伝え 読者・会員・共済・婦人・青年の5つで拡大を

上越民商は10月3日の常任理事会で、①緊急切実な要求運動を、班・支部を基本に取り組み、②民商の魅力を訴え、読者・会員など5つの拡大運動で前進させることを決めました。

すでに役員会日程を決めたのは、城北支部、春日

山支部、直西支部、直東支部、糸魚川支部で、パソコン記帳会や独自の取組みを話し合います。又直江津料飲支部は、風営法問題の対策で支部会を計画しています。

又、婦人部、青年部でも取組みが進められています。

福祉の充実を図ると公約。

小規模事業者は「払えない」国保税に泣かされ、強権的な徴収に苦しんでいます。2018年からの国保の都道府県化で、県に権限が集中することで、さらなる保険税の上げや徴収強化も懸念されていることから「米山新知事」実現は小規模事業者の暮らしを守る点でも決定的に重要です。

全会員の力結集し 営業と暮らしを守る 選挙戦に全力を

支部役員が「選挙資料袋」をお届けしますので、家族、友人・知人に支持を広げに広げましょう。原発再稼働反対で現職知事をやぶった三反園鹿児島県知事に続きましよう。

パソコン記帳会 のお知らせ

民商事務所で開催するパソコン記帳会日程は以下の通りです。

- 10月11日(火)
- 11月10日(木)、いずれも13:30~民商会館

10月10日付 商工新聞3面に 上越の 夜オリ記事掲載

今週号の全国商工新聞で上越民商と新津民商の夜オリ記事が掲載されています。地域の賑わいづくり、活性化に取り組む『民商の魅力』の一つとして紹介し、商工新聞読者を増やましよう。

じめ3人の部員が増えました。10月5日には誕生日プレゼント届け。12日にはPC記帳会を開き、17日にも部員拡大デーを計画するなど奮闘中!

【青年部】
全青協総会(11/20)めざし、『新入部員歓迎会』を10月24日に計画。